

中米のユニークな2つの共和国を訪ねる

旅行代金 2018年6月21日 456,000 円

一人部屋追加料金 47,000 円

定員 15名(最少催行人員8名) 成田空港より添乗員が同行いたします 申込み締切 各出発日の1ヶ月前

日次	月日	曜	都 市	交通機関	摘 要	〈宿泊地〉	食事
①	6月21日	木	東京・羽田空港発 メキシコ発 ハバナ着	航空便 航空便	空路、經由便にてキューバの首都ハバナへ(羽田空港16時半頃集合) 着後、宿泊ホテルへ	〈ハバナ泊〉	B-機 L-機 D-x
②	6月22日	金	ハバナ	専用車	終日：ハバナ市内見学 ◎障がい者施設または幼稚園 ※1) ◎市民農園見学訪問 ※1) ◎民芸品市場	〈ハバナ泊〉	B-H L-R D-R
③	6月23日	土	ハバナ	専用車	終日：ハバナ市内【世界遺産】見学とコヒマル ●革命博物館 ◎革命広場 ●モロ要塞 ヘミングウェイが過ごしたコヒマルの漁村見学 ●ヘミングウェイ博物館	〈ハバナ泊〉	B-H L-R D-R
④	6月24日	日	ハバナ発 サンホセ着	専用車	早朝：陸路、空港へ 空路、コスタリカの首都サンホセへ 午後：サンホセ市内見学 ●国立劇場 ◎市場	〈サンホセ泊〉	B-弁 L-R D-R
⑤	6月25日	月	サンホセ	専用車	終日：サンホセ市内見学 ●憲法廷 ※1) ●国会 ※1) ●国立博物館 夕方：現地の方と交流 >現地の方に憲法・平和教育をテーマにお話	〈サンホセ泊〉	B-H L-R D-R
⑥	6月26日	火	サンホセ発 サラピキ サンホセ着	専用車	日帰りでサンホセから2時間ほどのサラピキへ コスタリカに生息する野鳥の半数が生息するサラピキエコツアー サラピキ川クルーズ >アカメアオガエルやシロヘラコウモリなど 中南米特有の動植物を観察	〈サンホセ泊〉	B-H L-R D-R
⑦	6月27日	水	サンホセ発 メキシコシティ	専用車	空路、メキシコ経由で帰国の途へ 【OP】メキシコシティの夜景とディナーまたは ラテンアメリカタワー夜景観賞とマリアッチ楽団演奏ツアー (別途料金)	〈空港待機〉	B-H L-x D-x
⑧	6月28日	木	メキシコ発	航空便 航空便	深夜：空路、日本へ	〈機中泊〉	B-機
⑨	6月29日	金	東京・成田空港着		早朝:到着後、解散		

B=朝食付、L=昼食付、D=夕食付、機=機内食 H=ホテルで、RL=市内レストランで、弁=弁当、機=機内食
●=入場して見学、◎=下車して見学、○=車窓から

※1)視察・交流は相手側のご好意で実現するものです。

突然の変更・訪問箇所の変更となる場合があります。

ツアーの特色

- ◇革命の歴史と世界遺産・ハバナ旧市街、障がい者施設などを訪問
- ◇憲法法廷などを見学、常備軍をなくしたコスタリカの憲法と教育を学ぶ
- ◇各国3連泊でゆったり滞在

利用航空会社

エアロメヒコ、クバーナ航空 など

利用ホテル

都市名	ホテル
ハバナ	パノラマ、コモドーロ、クバーナ
サンホセ	バルモラル
	または同等クラス

旅行代金に含まれるもの

- 国際航空料金（エコノミークラス）
- 旅程表に明示したバス・列車・船等の料金・宿泊料金・食事料金
- 航空機による手荷物運搬料金
- 旅程表に明示した見学地のガイド料、入場料、チップ

旅行代金に含まれないもの

- 超過手荷物料金
- クリーニング代、電報・電話代、心づけ、追加飲食等の個人的性質の諸費用
- 空港施設使用料、保安料 2,610 円(成田空港)
- お一人部屋追加料金 47,000 円
- 国内における集合・解散地までの交通費・宿泊費
- 燃油サーチャージ 約 28,000 円 (2018年1月現在)
- 空港税 約 8,680 円 (2018年1月現在)
- 渡航手続費用:旅券印紙代
- 傷害、疾病等に関する医療費、任意の旅行傷害保険料



▲ハバナ旧市街



▲コヒマルに建つヘミングウェイ像



▲憲法法廷



▲サラピキ